

令和6年度（2024年度） 事業実績報告書

Ⅰ. 申請者の概要

申請者	団体名		熊取町商工会
	代表者職・氏名		会長 辻 正義
	所在地		〒590-0451 大阪府泉南郡熊取町野田2-9-20
	担当者	職・氏名	事務局長 東 英彦
		連絡先	TEL（直通）： 072-453-8181
Fax： 072-453-8183			
		E-mail： kumatori@silver.ocn.ne.jp	
①設立年月日			昭和59年7月10日
②職員数 （うち経営指導員数）			5名（経営指導員5名）（令和6年3月31日現在）
③所管地域			
④管内事業所数			1,154（令和3年度経済センサス）
⑤管内小規模事業者数			811（令和3年度経済センサス）
⑥会員数（組織率）			678（58.7%）（令和7年3月31日）
※②、④、⑤、⑥については直近の数字を記載すること			
□主な事業概要（定款記載事項等）			
①商工業に関し、相談に応じ、又は指導を行うこと。 ②商工業に関する情報又は資料を収集し、及び提供すること。 ③商工業に関する調査研究を行うこと。 ④商工業に関する講習会又は講演会を開催すること。 ⑤展示会、共進会を開催し、又はこれらの開催のあっせんを行うこと。 ⑥商工業に関する施設を設置し、維持し、又は運用すること。 ⑦商工会としての意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、又は建議すること。 ⑧行政庁等諮問に応じて、答申すること。 ⑨社会一般の福祉の増進に資する事業を行うこと。 ⑩商工業者の委託を受けて、当該商工業者が行うべき事務（その従業員のための事務を含む。）を処理すること。 ⑪商工業者の福利厚生に資する事業を行うこと。 ⑫行政庁から委託を受けて事業を行うこと。 ⑬外国人研修生の受入れに関する事業を行うこと。 ⑭前各号に掲げるもののほか、本商工会の目的を達成するために必要な事務を行うこと。			

2. 事業概要

熊取町商工会

(1) 事業の目標
熊取町商工会は経営相談支援事業では小規模事業者が抱える経営課題を把握して解決するため指導員が窓口・巡回指導を行い、サービス提案をして事業所の課題解決をはじめ施策のPR、情報の発信を行うなど様々な面からの確にそして総合的に支援をする事で地域事業所の安定的持続発展に寄与する。また専門的な課題は各関係支援機関、専門家等と連携を図りその解決に向けたきめ細やかな支援を行うことで事業者が持つ課題を速やかに解決まで導く。そして地域活性化事業では管内の商工業者の現状を把握しその状況に応じた創業セミナー、情報発信セミナー、中小企業IT/IOT、DX推進入門セミナー、くまとり産業フェアなど事業所の参加を促す事業を積極的に開催した。また大阪府連携、近隣の商工会、商工会議所と連携してのBCP普及啓発や策定ワークショップ事業を積極的に実施、また昨年度に引き続き開催の熊取地域振興券事業は熊取町と連携を図り実施、より多くの参加事業者のビジネスチャンス創出や販路拡大に繋げ企業の成長を促していくことができた。
(2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点
経営指導員による相談支援事業は、事業者の抱える経営課題や問題点等を把握するため窓口・巡回時において事業者とより多く接点を持つよう心掛け、経営、税務、労務、金融等の様々な課題に対し親切、丁寧に指導した。また指導員間では事業所の情報を共有し課題を把握してニーズに沿った課題解決の提案を図るなど、全指導員が一丸となり迅速かつ的確な支援を行い事業所が抱える多くの経営課題の解決に努めた。また専門的・高度な課題は専門家や各関係機関との連携を保ちながら諸問題を解決すべく専門相談事業に導く事ができた。専門家相談事業の税務支援は年末調整・確定申告、そして令和5年からは特に消費税の軽減税率やインボイス支援に重点を置くなど事業所にとって複雑な問題の解決をすることが出来た。また金融支援は月1回の相談会を計画し実施することで資金繰りに苦慮する事業者の資金調達窓口となり融資決定まで速やかに導く事ができ専門家相談事業は十分に活用して頂く事ができた。地域活性化事業は、府・各市町・各商工会・商工会議所、各関係団体との連携を密にして、DMやチラシやホームページでまた熊取町広報を通じて町内全域に周知ができ各事業を開催ができた。そして創業セミナー事業は、大阪産業局と連携を図り的確な講師を派遣して頂くことで、起業する方が参加し易い受講料無料での開催でき多くの受講者で開催ができた。情報発信事業は熊取町図書館と連携を図り、展示スペースに於いて事業所のモノを展示、そして事業所に関連した書籍を図書館の関係者に展示して頂く事で、訪れる来館者に展示事業所のPRができ一定の成果をあげる事ができた。くまとり産業フェアは熊取町主催の熊取ふれあい農業祭と同時開催することで商工農の一体となったイベントとして多くの方々に来て頂いて頂く参加事業所のPRができた。また各事業を実施する際には事業所の個別訪問を行い周知に心掛けて参加して頂く事が出来た。
(3) 事業を実施した効果、所管地域の活性化の状況
令和6年度はコロナ禍からの脱却が進み経済社会活動が正常化していく中で今年度の商工会における事業計画等は全て開催する事ができたものの相談支援事業は多く、それらの事業所の様々な問題解決に取り組む事により、商工会は地元の中小零細企業の良きパートナーとしてまた身近な相談窓口である事を再認識する事ができた。その中で相談支援事業においては積極的に事業所訪問を最優先することで様々な課題が浮き彫りとなりその課題解決に向けて情報提供や提案等を行った結果、各事業所へ対してのニーズを迅速かつ的確に把握し問題への対応策等に導く事ができ、経営者の課題解決に向けた効果的な支援をすることができた。地域活性化事業においては創業セミナーは今年度も大阪産業局から優れた講師を派遣して頂き充実したセミナーとなり、毎年何件かの方々が開業を実現するという成果をあげる事ができている。情報発信事業では、熊取町図書館と連携を図り、事業所のPRとその事業所の内容に関連した書物を一緒に展示PRする事で町内事業所に興味を持って頂く事ができた。中小企業IT/IOT、DX推進入門セミナーは事業所が業務や働き方など企業を変革するデジタル化を推進する研修であり今後事業所に於いての必要な知識やスキルを身に付けて頂くことができた。くまとり産業フェアは新設された町施設町民文化ホールと町民会館で熊取ふれあい農業祭と同時に盛大に開催することができた。専門相談支援事業は税務相談を実施して年末調整、確定申告相談、そしてインボイス制度の支援、特例制度等に対応をする事で税の正しい認識や申告納税へと導く事ができた。専門相談支援事業として金融相談事業も開催しており、毎月1回の日本政策金融公庫担当者との金融相談会は事業所にとってより良い相談機会となり更に事業所、公庫、商工会のより良い繋がりとなっている。
(4) 事業を実施した結果浮き上がった課題
令和6年度熊取町商工会は相談支援事業・専門相談支援事業・地域活性化事業、全ての事業計画において遂行する事ができた。商工会相談支援事業をはじめ各事業に参加、活用された事業所は効果や実績満足率などで一定の高評価を頂く事ができた。今も事業所に寄添った伴走的な支援を続けるもののまだまだ商工会の事業に参加できていない事業所もあるのが実状であり今後も地域の商工業者の方々により一層参加して頂くべく、より良い情報の提供や提案等を積極的に行い浸透を図るとともに創業支援や後継者問題に取り組み地域経済全体に活力が行き渡るような様々な事業、施策を展開し多くの事業所に活用して頂くことができる商工会を目指す。
(5) 次年度の取り組み
小規模零細企業のまだまだ経営環境は依然厳しい状況下に置かれており令和7年度熊取町商工会としては経営相談支援事業・専門相談支援事業・地域活性化事業のより浸透を図るべく、利用頻度の低い事業所に対し巡回等の強化を行い各種情報等を提供し掘起しを行い、事業所が抱える経営課題や問題点を把握し事業所に問題提起を行い、効果的な課題解決策を講じ事業所に寄添った伴走支援ができるよう努める。また各種事業においても大阪府をはじめ近隣商工会、商工会議所、熊取町、各種関係団体との連携を強化し地域産業の活性化や振興を図っていく。

3. 経営相談支援事業・専門相談支援事業 熊取町商工会

Ⅰ 経営相談支援事業						
支援のポイント・成果						
熊取町商工会は地域商工業者の経営課題を明確にする為に従前から経営指導員間の情報共有を図り窓口相談、巡回相談の積極的な推進の継続に心掛けてきた。そして事業所が抱える経営問題を把握しその問題解決に向けた手法を提案して事業所が抱える諸問題の解決に向けあらゆる方向から適切に支援していく事ができた。しかしながら地域内事業所を取り巻く環境は非常に厳しく、新たな課題が見つかり支援を求められる状況が続いている。この様な状況下で商工会は大阪府をはじめ大阪産業局、各種関係機関、専門家等との連携により高度な案件への対応も行う事ができる体制を整えている。各関係機関と商工会が連携を密にする事により地域の発展に貢献できた。また、ワンストップ的な機能を果たすことにより事業所の経営改善等に役立てて頂くこともできた。今後も商工会が事業所に寄添い伴走支援する事で商工会への信頼性・信用性を強化し、今後更なる各種支援やサービス向上、ひいては地域商工業の振興、発展に繋げていきたい。						
【代表事例】						
M社より、令和6年4月1日から実施される障害者差別解消法に伴う、合理的配慮の提供の義務化の対応について商工会に相談があり、今までの努力義務から義務化になった背景や合理的配慮の提供についてなど具体例を交えて事業所としての対応案を検討し問題解決を図った。						
支援メニュー	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価	
事業所カルテ・サービス提案	事業所	200	206	103.0%	5	
支援機関等へのつなぎ	支援数	1	0	0.0%	2	
金融支援（紹介型）	支援数	2	2	100.0%	5	
金融支援（経営指導型）	支援数	20	15	75.0%	4	
マル経融資等の返済条件緩和支援	事業所	1	0	0.0%	2	
資金繰り計画作成支援	事業所	10	11	110.0%	5	
記帳支援	事業所	60	88	146.7%	5	
労務支援	支援数	30	44	146.7%	5	
人材育成計画作成支援	事業所	1	0	0.0%	2	
マーケティング力向上支援	事業所	1	0	0.0%	2	
販路開拓支援	支援数	60	32	53.3%	4	
事業計画作成支援	支援数	5	1	20.0%	3	
創業支援	事業所	5	3	60.0%	4	
事業継続計画（BCP）作成支援	事業所	10	1	10.0%	3	
コスト削減計画作成支援	事業所	30	59	196.7%	5	
財務分析支援	事業所	5	0	0.0%	2	
5S支援	事業所	10	3	30.0%	3	
IT化支援	事業所	5	0	0.0%	2	
債権保全計画作成支援	事業所	1	0	0.0%	2	
事業承継支援	事業所	15	10	66.7%	4	
災害時対応支援	事業所	0	0	-	-	
フォローアップ支援	事業所	30	0	0.0%	2	
結果報告	事業所	200	206	103.0%	5	
Ⅱ 専門相談支援事業						
支援のポイント・成果						
熊取町商工会では年間を通じて税務相談を随時実施、また確定申告期間を通じて専門家を招き相談会を実施して事業者の持つ複雑な問題を的確に解決に導く事が出来た。また昨年からインボイス制度に関する相談の際に専門家を通じてその対応やe-Taxへの推進も理解を深めて頂くこともできた。また金融相談は、昨年度に引続き日本政策金融公庫と連携して毎月1度の相談会を実施し、融資に対する課題解決等経営改善を図る事ができた。						
事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
法務相談						
税務相談	継続	相談件数	20	43	215.0%	5
金融相談	継続	相談件数	12	16	133.3%	5
労務相談						
その他相談						

４． 地域活性化事業

熊取町商工会

Ⅲ 地域活性化事業										
支援のポイント・成果										
<p>熊取町商工会地域活性化事業では創業セミナーは８年目となり引続き大阪産業局と連携を図り優れた講師を派遣して頂く事で、より高度でわかり易いセミナーを開催出来ている事と思われる。また熊取町産業活性化基金事業補助金はこの創業セミナー受講者への優遇制度もある事で開業を志す方からの問合せ等も年々増え地域の創業支援セミナーとして定着し起業をする方も見られ地域産業への賑わいをもたらす一助となっている。</p> <p>情報発信事業は令和２年度から熊取町図書館とコラボしての開催するも参加募集を開始すると毎月の予約がほぼ埋まるという人気の事業でもあり毎月１事業所の展示PRとその事業所に関連した図書の展示で相乗効果を狙うなど参加事業所は積極的に事業所のPRが出来る良い機会となり一定の成果を得ることができた。中小企業IT/IoT、DX推進入門セミナーは大阪府の施策でもあり熊取町商工会単独で開催し、大阪産業局から優れた講師を派遣して頂きデジタル化の基本的な内容をわかり易く、企業にとって取り組む重要性について啓発して頂くことで参加した事業所の方々の意識の向上とデジタル化に取組む切っ掛けとなった。</p> <p>くまとり産業フェアは熊取町農業祭と同時開催する事ができ来場者も7000人と成功裏に終える事ができた。フェアに引き続き熊取町商工会創立40周年記念コンサートも開催できた事によりこのフェアは参加事業者にとっては地元住民とのふれあいの場、事業所のPRの場として大きな役割を果たすことができた。</p>										
(１) 単独事業										
府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足率	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
○	創業セミナー	15	13	86.7%	100.0%	創業に繋がった事業所数	2	4	200.0%	5
	情報発信事業	12	12	100.0%	100.0%	自店・商品等のアピール効果があった事業所割合	70%	100%	142.9%	5
○	中小企業IT/IoT、DX推進入門セミナー	15	13	86.7%	92.3%	IT/IoT、DX推進についての理解と意識付けが深まった割合	70%	92.3%	131.9%	5
(２) 広域事業（幹事事業のみ）										
府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足率	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
○	くまとり産業フェア事業	40	40	100.0%	97.5%	自店・商品等のアピール・認知度の向上が図れ売上増加に繋がった事業所の割合	70%	70%	100.0%	5

※府施策連携事業は、「府施策連携」欄に○をつけてください。各欄の記載は、個別調書の記載と合わせてください。

令和6年度（2024年度）小規模事業経営支援事業

地域活性化事業実績報告書

熊取町商工会

事業名		創業セミナー							
想定する実施期間		平成30 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	開業率が廃業率を下回っている現状が続いており、企業数は減少し続けている。地域を担う新たな起業家の出現が地域活性化に繋がると考える。創業にあたり、必要な手続きに関する基礎的な知識が不足している方も見受けられる。については、スムーズな創業を可能にするため、必要とされる手続きや知識・企業に向けた心構えを身につけていただき具体的なビジネスプランの作成を支援し、事業化を実現させることで、管内の産業活性化を図る。また創業後5年程度の方や不安のある方にも参加頂き、自社の経営を見直す機会としてもらう。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	熊取町内外で創業を希望される方・創業後5年以内の方							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	★創業セミナー 【時 期】7月 テーマ毎に分けて4回実施 第1回 7月6日 テーマ：経営 講師：大阪府よろず支援拠点 コーディネーター 第2回 7月13日 テーマ：販路開拓 講師：大阪府よろず支援拠点 コーディネーター 第3回 7月20日 テーマ：財務 講師：大阪府よろず支援拠点 コーディネーター 第4回 7月27日 テーマ：人材育成 講師：大阪府よろず支援拠点 コーディネーター 【場 所】熊取町交流センター 講義室A 【参加費】無料 ※創業の心得・開業に伴う手続き・税務関係・公的融資制度の紹介・創業計画書作成のポイント等の内容で実施							
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	(商-19：起業家の育成、創業の促進) 創業支援機関ネットワーク会議に参加やセミナー開催に向けて協議する。						
		②広域連携							
		③市町村連携	広報誌や掲示板を利用した広報の協力。						
④相談相乗	セミナー受講者に対して、創業支援などを実施。金融支援（紹介型）1件、その他カルテ化までには至っていない参加者に対しても個々の状況にあった指導も行った。								
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	15社	総支援企業数(実績)	13社	支援実績率	86.7%	満足率	100.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	セミナーに参加した方々の満足率については、アンケートにもあるように創業に向けた取組について概ね理解をいただく。創業するにあたり、セミナー参加者の中には、熊取町で実施している創業支援補助金や特定創業の融資枠拡充・小規模事業者持続化補助金などの相談を行った。（セミナー受講後、4名の起業がなされる。）							
		代表指標	創業に繋がった事業所数						
		数値目標	2社	実績数値	4社	目標達成度	200.0%		
	成果の代表事例	創業セミナーを受講した方が、熊取町の産業活性化基金を活用し、起業した。（ネイル・マツエグサロン・エステ・整骨院・コンサルティングサービス業の起業あり。）							
	その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度			
実施結果	課題及び次期以降への取組み（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローする	受講する事で、法人成りの登録料の減額や補助金への活用などを見越した受講者が多く感じられた。グループワーク等を実施する事で、受講者同士の繋がりが出来、セミナー終了後も情報交換をするなど、創業への意欲を高める工夫が出来た。今後も一人でも多く、起業出来る環境を整えていきたい。							

令和6年度（2024年度）小規模事業経営支援事業										地域活性化事業実績報告書	
熊取町商工会											
事業名		情報発信事業									
想定する実施期間		平成23 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること									
事業の概要	事業の目的 （現状や課題をどのような状態にしたいか）	熊取図書館施設内、商工会展示ブースにおいて、熊取町内の商工業の製品・商品や企業PR・旬の企業情報等を発信する場を提供することにより、町内外の方々に幅広くアピールし、町内商工業の認知度を高めることにより、町内企業との商談・購買等へと促すことにより企業のアピールの一助として活用、情報発信をしていき、ひいては町内商工業の振興・活性化を促していく。また、企業PRの内容に合わせて図書館の本を隣接して展示する事により、企業商品や事業内容などより親しみやすい企業PRが実施出来る取組にも力を入れている。									
	支援する対象 （業種・事業所数等）	町内全事業所									
		熊取図書館内に設置された、商工会展示ブース1枠を1企業1か月単位で展示し、企業の製品・商品等をアピールし商工業の販路開拓の一助とし活用を促していく。また、展示内容と本を使った相乗効果を図るディスプレイを実施し、図書館だから出来る情報発信を提案した。募集については、DMや指導員が巡回時に紹介等を行い新たな広報の手法の一つとして活用を促した。									
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>									
		①府施策連携									
	②広域連携										
	③市町村連携	町と商工会が連携を図りPR等の啓発を促しより多くの方々に来館頂く。また出展企業においては、展示素材の選定やディスプレイ・顧客等の対応等販路開拓についての支援を行った。									
	④相談相乗	カルテ化までには至っていないが事業者に対して個々の状況にあった指導を行う。									
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	12社		総支援企業数(実績)	12社		支援実績率	100.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度 （支援企業をどう変化させることができたか）	各々の企業が製品・商品やサービス等をPR、情報発信することにより、多くの方々の目に留まり新たな顧客の獲得や売上の向上や企業のプレゼンテーションを考える機会を与えることにより、意識の変化や事業活動に活力を与えた。									
		代表指標	自店・商品等のアピール効果があった事業所割合								
		数値目標	70%		実績数値	100.0%		目標達成度	142.9%		
	成果の代表事例	アナログ的な取組での企業PRであるが人の集う場所の利点を生かし、企業の取組や商品などの紹介をする事により、顧客の来店や問い合わせなど、一定の成果があったとの声をいただく。引き続き、事業者の取組みの状況を確認し、販路開拓の支援を行なっていく。									
	その他目標値の実績	目標値（計画）				目標値（実績）				目標達成度	
実施結果	課題及び次期以降への取組み（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）	新規顧客の来店や顧客からの問い合わせなどがあり、展示PRをする事により効果が見出せた。図書館と事業所がタイアップしたまちゼミ的なコラボなども取り入れた事も事業所の認知度向上に繋がっている。今後も事業者の取組みの状況を確認し、販路開拓の支援を行なっていく。									

令和6年度（2024年度）小規模事業経営支援事業					地域活性化事業実績報告書					
熊取町商工会										
事業名		中小企業IT/IoT、DX推進入門セミナー								
想定する実施期間		令和6年度～年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること								
事業の概要	事業の目的 （現状や課題をどのような状態にしたいか）	DXやIoTに対して何となく“良さそう”というイメージはあるものの、「具体的に何ができるのかは知らない」や「社内でDXを推進すると言われていいが何から手をつけていいかわからない」など、日々頭を抱えている事業者が多いと考えられる。「そもそもDXとは」・「IoTとの関係は」など、デジタル化によるビジネスが本格化してきている現代では、時代の流れに合ったIT経営、DXについて知り得る場として本セミナーが必要となる。								
	支援する対象 （業種・事業所数等）	IT/IoT導入・DXに興味を持つ、町内事業者。								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	★IT/IoT・DX推進入門セミナー 【時 期】10月24日（木）午後2時～午後4時 【内 容】IT/IoT・DX推進について 【講 師】大阪府よろず支援拠点 コーディネーター 【場 所】熊取交流センター コットンホール 【参加者】16名								
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>								
		①府施策連携	（局-5：中小企業のIT/IoT導入、DX推進支援）大阪産業局MOBIO事業部技術支援チームとセミナー開催に向けて協議する。							
②広域連携										
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	15社	総支援企業数(実績)	13社	支援実績率	86.7%	満足率	92.3%	
	目標の達成度 （支援企業をどう変化させることができたか）	初歩的な内容で分かりやすく実施。アンケート等でIT/IoT・DXの取組に関する状況を確認。デジタルツール導入の必要性を感じる回答を得る。本セミナーを受講後、IT/IoT・DXの導入のきっかけとなり、今後の活用が期待できる。								
		代表指標	IT/IoT、DX推進についての理解と意識付けが深まった割合							
		数値目標	70%	実績数値	92.3%	目標達成度	131.9%			
	成果の代表事例	Googleを活用されている事業所からMEO対策に対して気づきの点が見つかりや自社の課題が知り得たなどセミナーに参加したことにより、IT/IoT・DXに取り組む意欲を高めることができた。								
その他目標値の実績	目標値（計画）				目標値（実績）					
	目標達成度									
実施結果	課題及び次期以降への取組み（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）	セミナーでは、IT/IoT・DX推進の基本的な内容で事例を交えながら説明。基本的な内容で実施したので一定の成果は得られた。ただ、導入に向け本格的な取組となると今後、更なる部分で理解が必要と感じるところもあり、大阪府よろず支援拠点と連携を取りながら支援を実施していく。								

令和6年度（2024年度）小規模事業経営支援事業 地域活性化事業実績報告書

熊取町商工会

事業名		くまとり産業フェア事業							
想定する実施期間		H25 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	熊取町は近隣の市町に比べ町内購買流出が極めて高く、町内商工業の厳しい環境の中で活性化を図るためには、企業等による販売促進活動の支援、新たなビジネスチャンスの創出が必要である。本産業フェアを実施することにより、地元商工業の優れた製品・商品等を消費者にアピールすべく、展示・即売・商談・販路開拓等の事業機会を提供し、事業所と消費者との交流を深め、消費者ニーズの把握や企業間の情報交換・交流等を行う。また、本産業フェアを実施するに当たり熊取町と連携を図り、町農業祭と共同開催をする。共同開催することにより農業及び商工業の異業種間交流を深めることができ、事業所の意識の高揚を図り、新たな産業交流が生まれる。例年、盛況である大阪府雇用推進室人材育成課・大阪府技能士会連合会と連携した「ものづくり体験教室」を令和6年度も引き続き開催し、ものづくりの習得に関心を持って頂き、次世代を担う若者の育成の場を提供するなど、地元産業の認知度向上、販路拡大等の機会の提供により、地域産業の振興、活性化を促すことを目的とする。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	泉南市・阪南市・岬町・忠岡町・熊取町商工会内の事業所							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<div>くまとり産業フェアと熊取ふれあい農業祭との合同開催 会議 8/5・9/25・11/12・2/17 広報 チラシ16,500枚を町広報折込及び関係各所へ配布・町広報誌掲載・ホームページへ掲載 開催日 令和6年12月1日(日) 開催場所 かむかむプラザ及びキターネホール周辺 来場者数 約7,000人 出店事業所数 40店舗</div> <div><事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載></div> <div>①府施策連携 大阪府人材育成課、大阪府技能士会連合会と連携を図り、各技能士会によるものづくり教室を開催。技能体験により、ものづくりに興味を持って頂くよう促進。</div> <div>②広域連携 泉南・阪南・岬・忠岡・熊取が連携し、出店者や来場者に対し広域でPRを実施。</div> <div>③市町村連携 事業の開催を町広報に掲載し幅広くPRを実施。町と連携する事で職員の動員などの協力も得る事が出来た。</div> <div>④相談相乗 カルテ化までには至っていないが事業者に対して個々の状況にあった指導を行う。</div>							
	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	40 社	総支援企業数(実績)	40 社	支援実績率	100.0%	満足率	97.5%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<div>令和6年12月1日に第13回熊取ふれあい農業祭とかむかむプラザ及びキターネホール周辺で同時開催した。来場者も延べ7,000人(熊取町のデータより)に達し、町内屈指の大型イベント恒例行事として地域住民には定着している。参加企業は40社(熊取29社、忠岡3社、泉南3社、阪南3社、岬2社)となり地域内の特産品・展示即売など、出店にもディスプレイ等創意工夫がみられ、多くの方にアピールすることができた。また、大阪府人材育成課、大阪府技能士会連合会と連携を計る事ができ、より一層の盛り上がりを見せ、参加事業所にも好評であった。</div> <div>代表指標 自店・商品等のアピール・認知度の向上が図れ売上増加に繋がった事業所の割合</div> <div>数値目標 70% 実績数値 70.0% 目標達成度 100.0%</div>							
成果の代表事例	綿製品を製織されている事業所では、ふるさと納税の返礼品として出品している自社生産毛布の他に、新しく立ち上げたアパレルブランド「T…Bee」の自社生産Tシャツを販売し、地域の方に広くPRすることができた。イベント当日は5件の名刺交換をすることができたので、今後の営業活動に活かしていきたいとコメントをいただきました。引き続き、販路開拓に係る補助金やイベント出店等の情報提供を行い、ブランドの認知度向上を図る。								
その他目標値の実績	目標値(計画)	4,000 人	目標値(実績)	3,842 人	目標達成度	96.1%			
	天候に恵まれ、終始賑わいが絶えることなく盛況であった。昨年より減少した理由としては、道路に面した会場の入口周辺は賑わっていたが、会場の奥は町施設により日光が遮られて暗く、気温も低かったため、入口周辺から離れるほど来店者数が減少してしまう傾向にあった。今後、同会場で開催する場合は、会場全体に人が分散するような配置を検討する必要がある。								
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	例年の課題である駐車場不足については、昨年の会場の熊取町立中央小学校を活用し、スムーズに来場者を受け入れることができた。しかし今回の会場は、かむかむプラザとキターネホールの間に車道があるため、開始直後や抽選会等の混雑する時間帯や出店者の搬入出時の安全管理に課題が残った。対策として、各時間帯に合わせた全職員の配置変更や、交通誘導警備員の増員を検討する必要がある。							